

徹底解剖：SynapXとフィジカルAIの覇権

自己進化するロボティクスがもたらす「モラベックのパラドックス」の崩壊と、次世代エンボディドAIの戦略的ランドスケープ



サイバー空間のAI

世界を言語として『記述・理解』
する (LLMなど)

パラダイムシフト



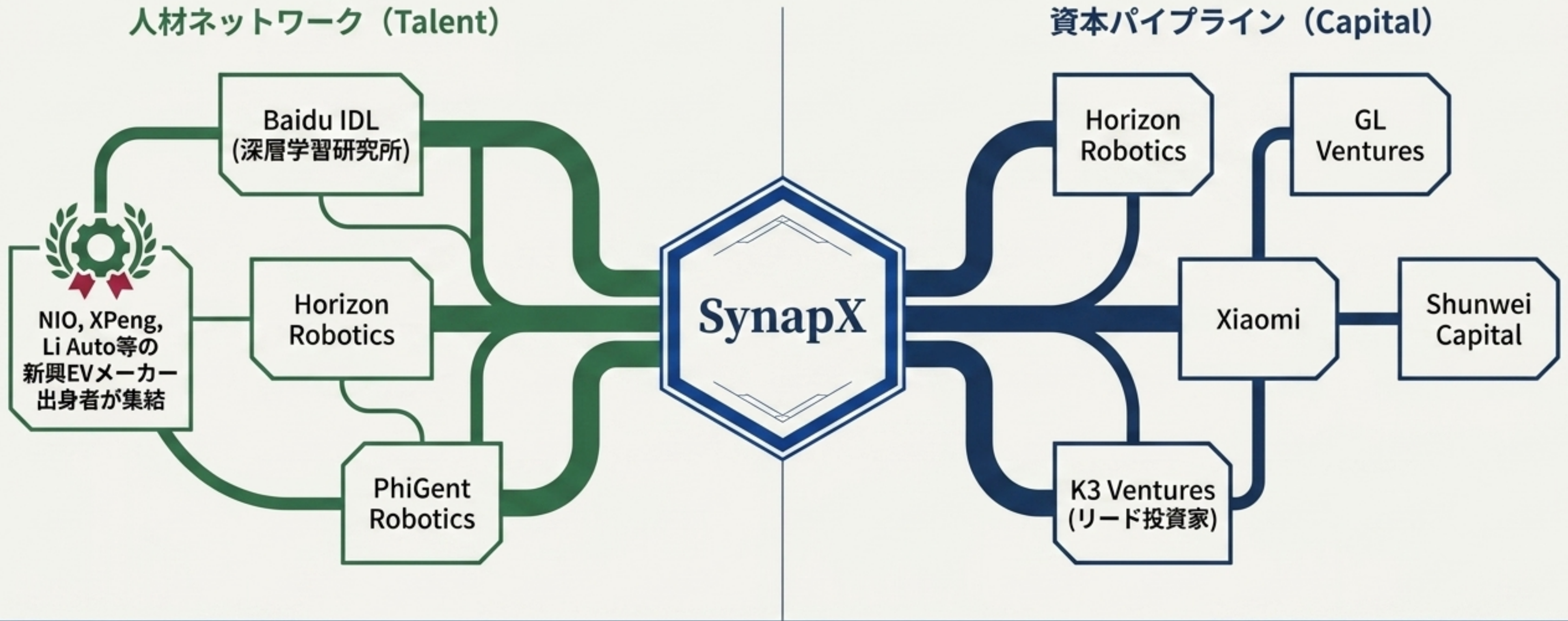
フィジカル空間のAI

世界を『操作』し、物理的タスクを
リアルタイムで実行する

2026年1月:
北京にて設立

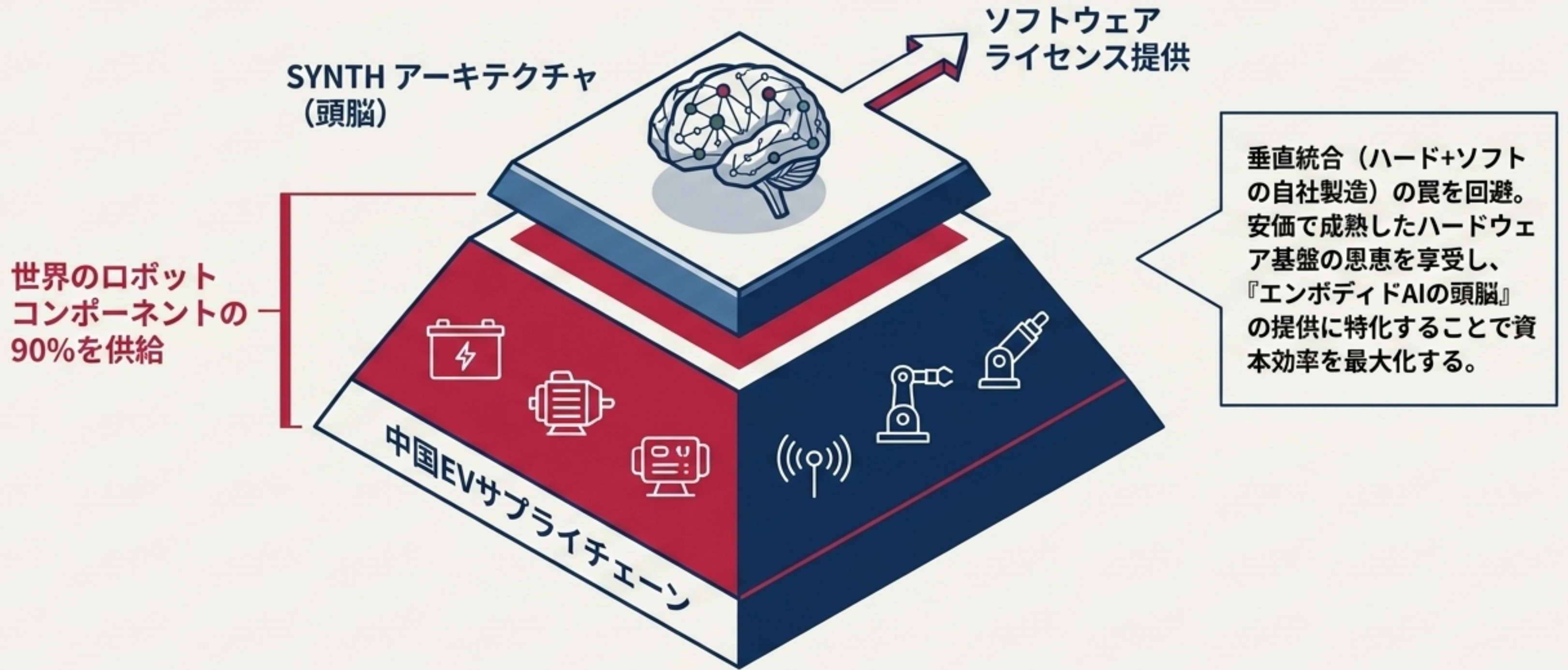
わずか2ヶ月弱で
シード調達完了

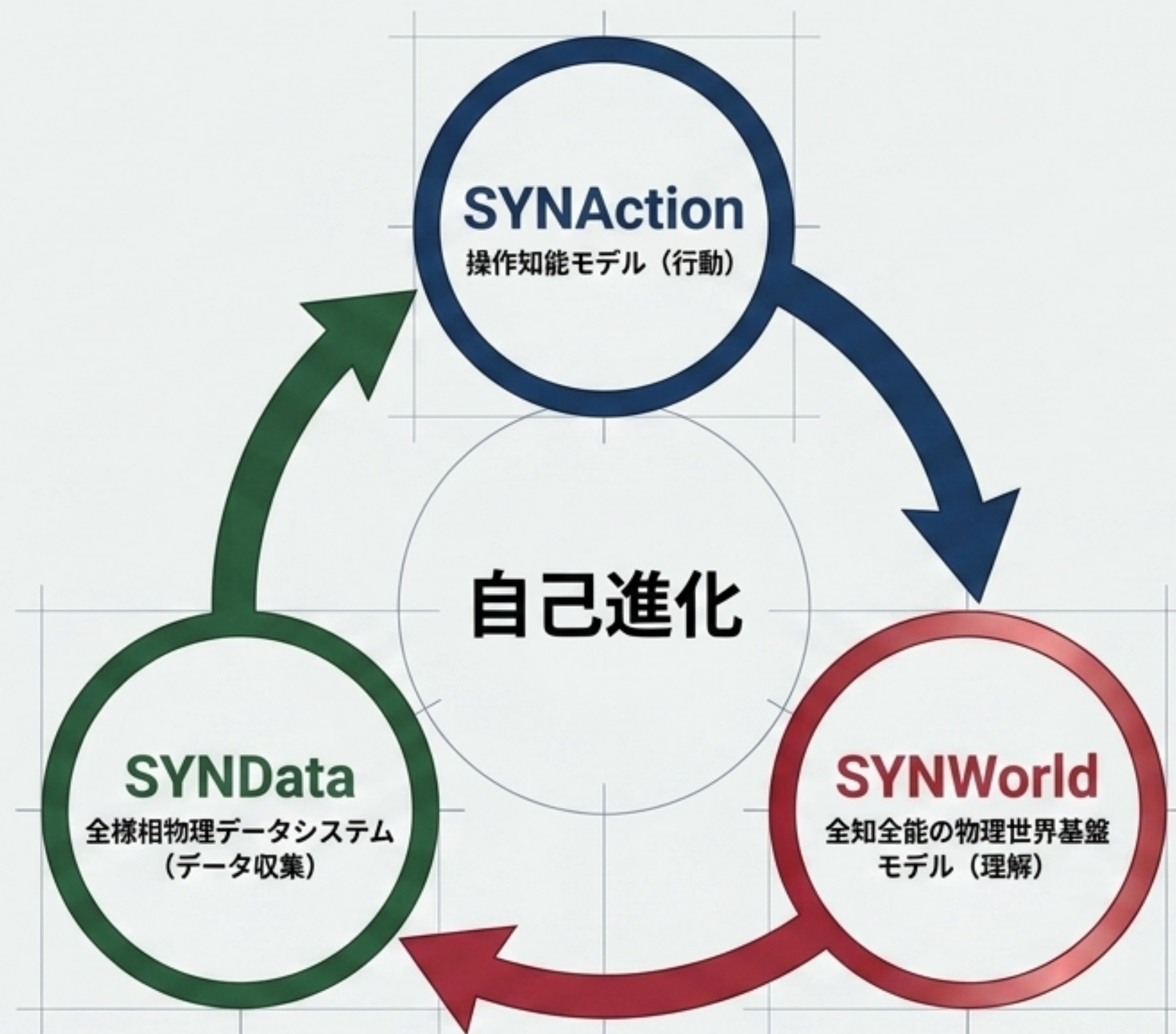
約5,000万ドル (約75億円)



単なるAI研究者ではない。実世界の複雑なハードウェア環境への実装と『量産化』を知り尽くしたフルスタック・エリート集団による圧倒的な資本動員力。

ハードウェアのエコシステムを基盤とするSynapXのソフトウェアライセンス戦略





単にパラメータを巨大化させるのではない。認識から実行までの『閉ループ』を形成し、AIを静的な教科書から『生きたシステム』へと変貌させる三位一体の設計。



System 2 (低周波)

- 熟考・戦略・高次元計画

推論コスト大・
低頻度実行

Top-down Guidance
上方からの指導



Bottom-up Feedback
下方からのフィードバック



System 1 (中周波)

- 運動パターン生成・アクション戦略



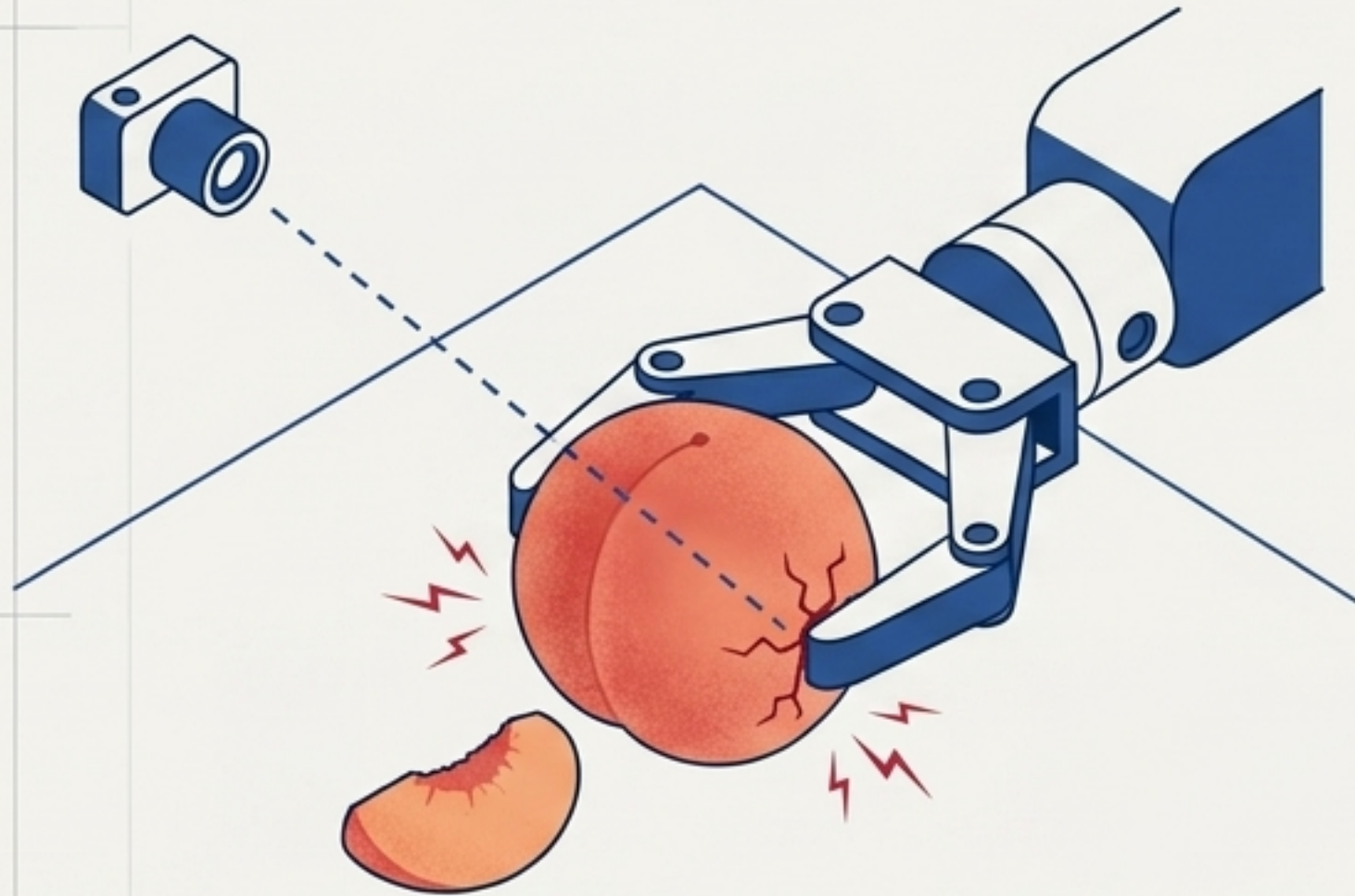
System 0 (高周波)

- 反射・物理的安定性・微細な力覚調整

推論不要・ミリ秒
単位の超高速ループ

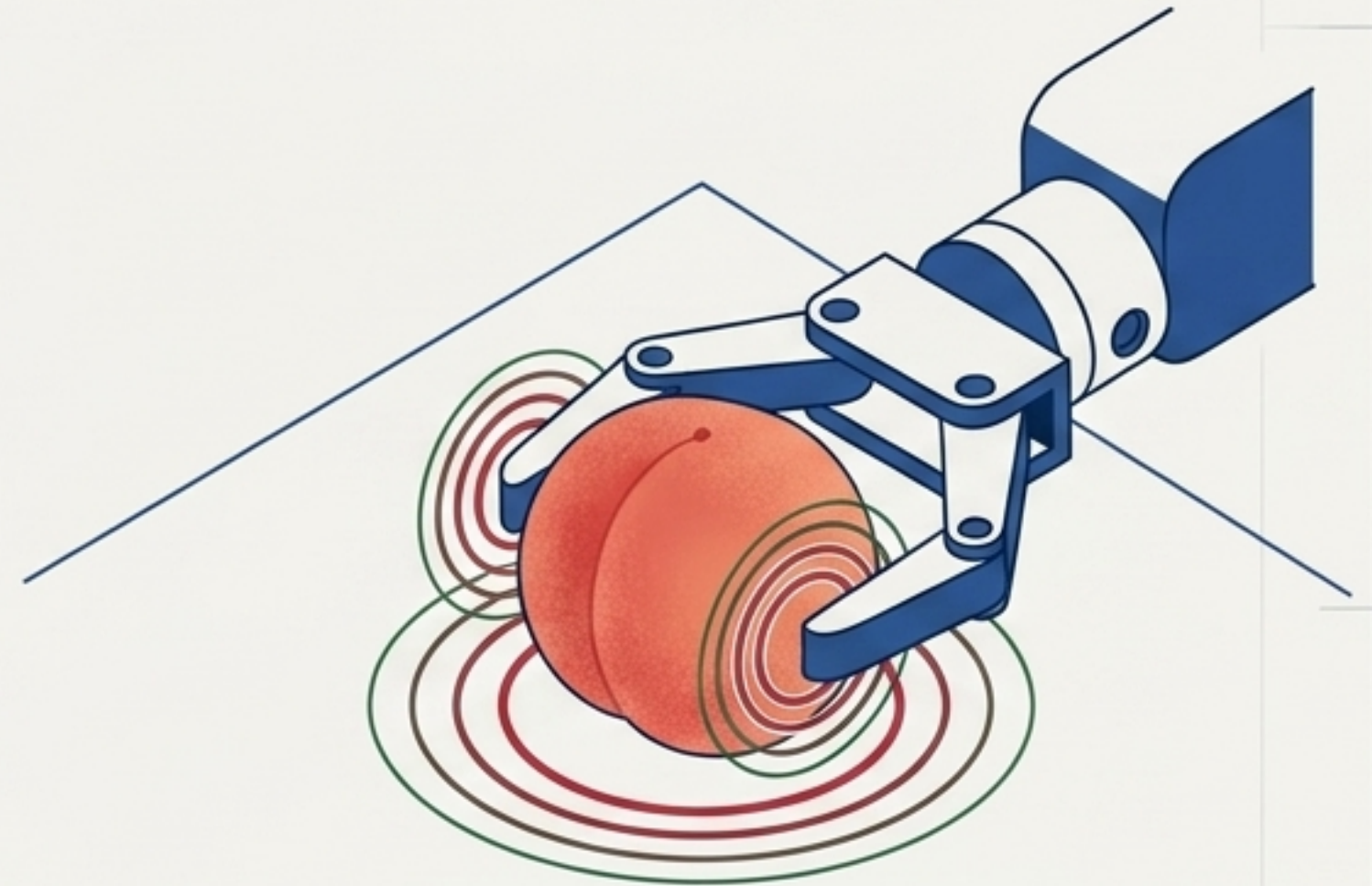
階層的周波数分離 (REMA) : エッジデバイスの厳しい電力制約下でも、計算資源を最適配分し、滑らかで安定した自律行動を可能にする生物学的アプローチ。

従来モデル (Pure Vision)



結果: オクルージョン (死角) による落下、
または力加減の失敗による破壊

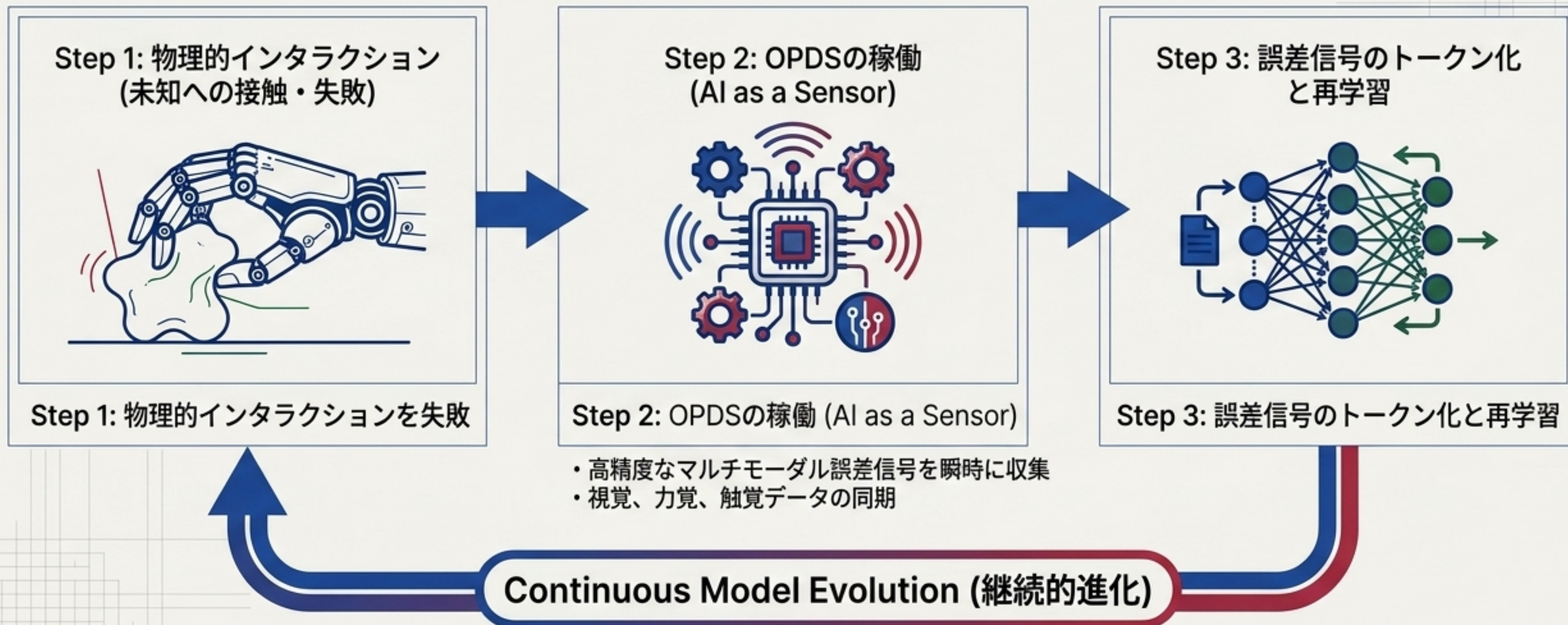
SynapX (VFT-WFM統合)



結果: 材質や硬さをリアルタイムでシミュ
レーションし、完璧な把持・精密な嵌合を実現

視覚 (Vision)、力覚 (Force)、触覚 (Tactile) のネイティブな統合が、
『視覚のみの限界』を突破する。

Premium Strategic Blueprint



人間による追加のデータラベリングなしで、物理環境の失敗データをモデルの『血流』として循環させ、進化を駆動する。

上位エージェント (メタ思考監視者 / System 2)

自己分析：なぜ失敗したか？
(素材が滑りやすかった？角度が悪かった？)

内部プロンプト・
戦略的修正の送信

実行結果の
フィードバック

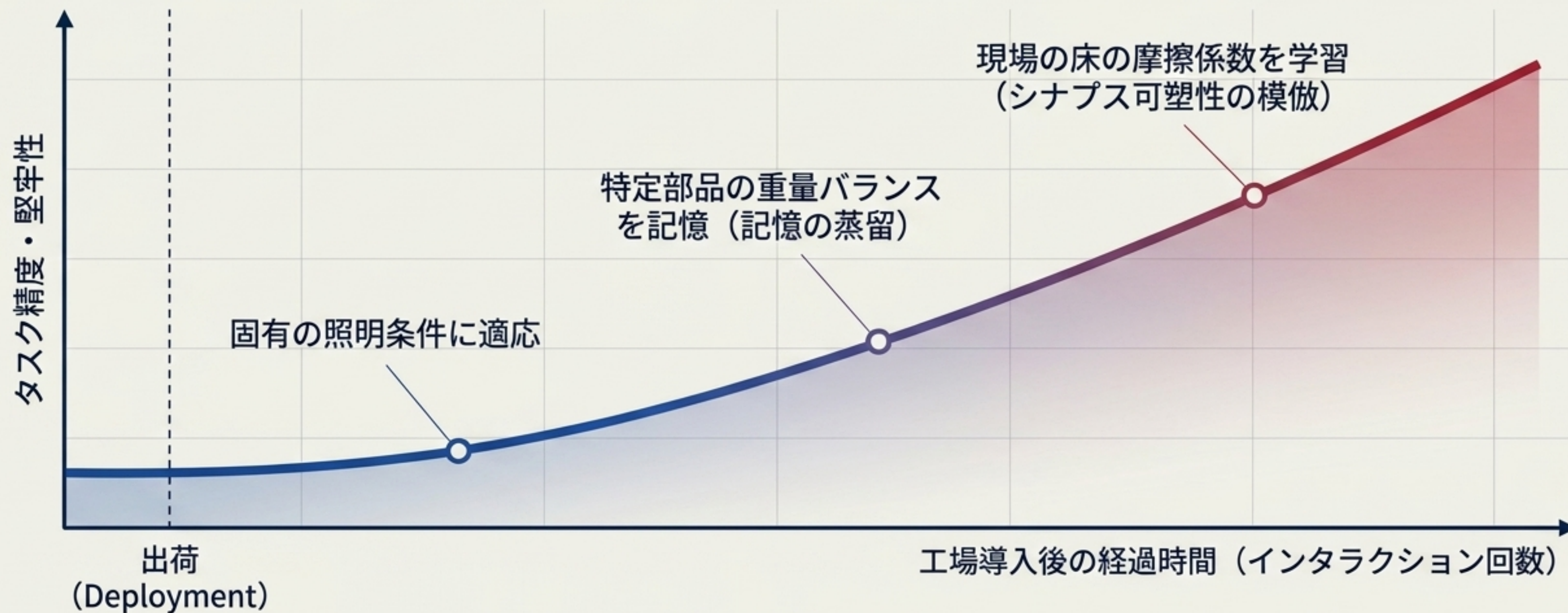
下位エージェント (推論・実行者 / System 1, 0)

物理動作の詳細な修正と再実行

メタ思考 (Meta-Thinking) の獲得

：単一ターンの推論ではなく、
『思考についての思考』を
システム内部で分離・協調させる
MARL (マルチエージェント
強化学習) アプローチ。

テスト時スケーリング (Test-Time Scaling)



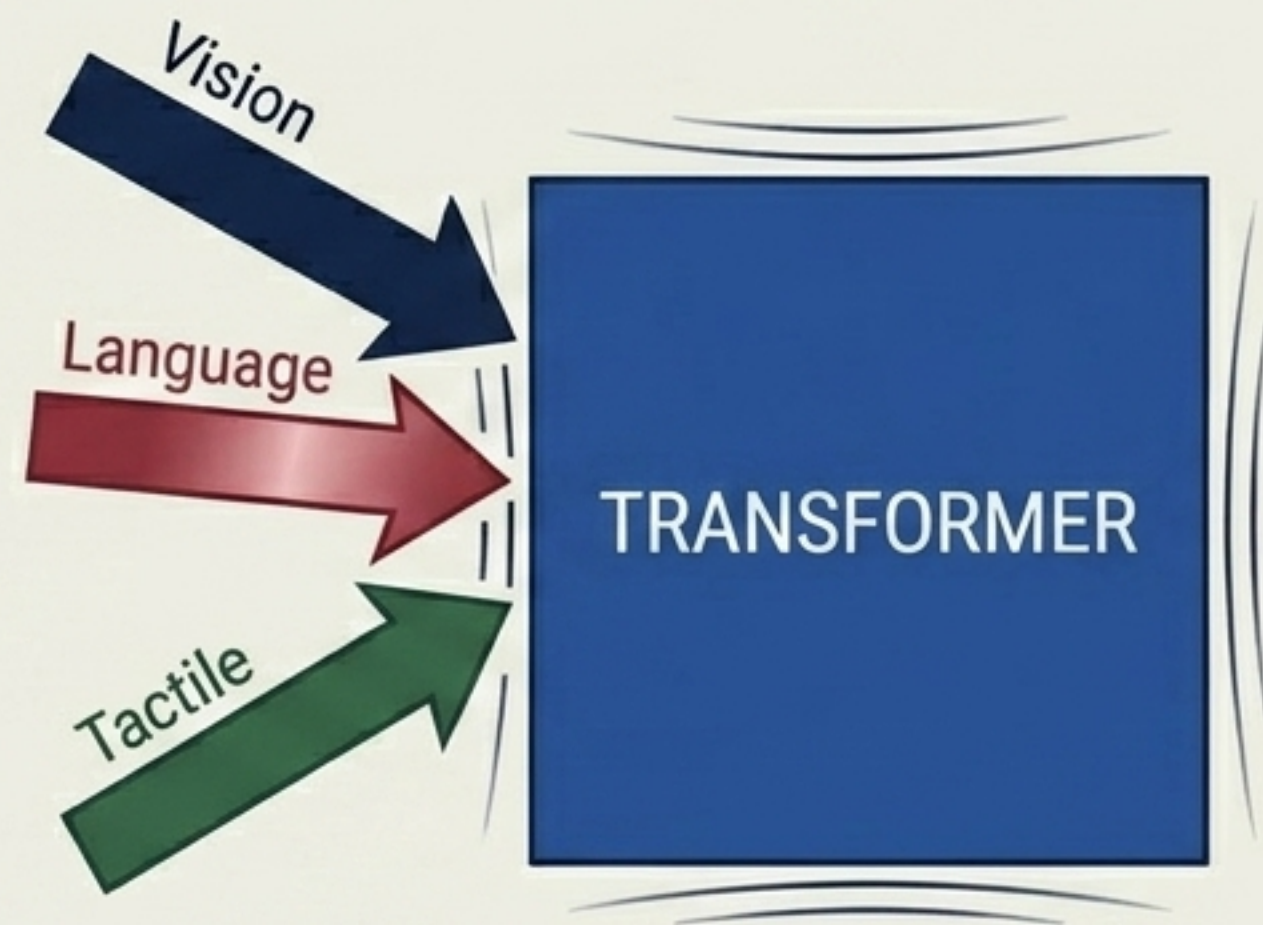
教科書 (学習済みモデル) の固定化からの脱却。現場の環境に『住み着く』ことで、事後的に自律的に賢くなる教師なし適応メカニズム。

グローバル・フィジカルAI戦略診断マトリクス

企業	コアアーキテクチャ	センサーの焦点	学習パラダイム	ビジネスモデル・特徴
SynapX	SYNTH (階層的周波数分離)	視・力・触の統合	自己進化 (メタ思考)	AIソフトウェアライセンス
Physical Intelligence (π0)	クロスエンボディメント特化	視覚・言語	フロー・マッチング	汎用モデル提供
Figure AI (Figure 02)	完全自社開発 (End-to-End)	視覚・音声	模倣学習・強化学習	ハード・ソフト完全 内製へ回帰
Tesla (Optimus)	純粋な視覚 (Pure Vision)	視覚・固有受容覚	ニューラルネットワーク	自動運転データ転用 / 自社エコシステム
X Square Robot (WALL-A)	単一のTransformer	マルチモーダル	ネイティブ統合学習	フルスタック開発

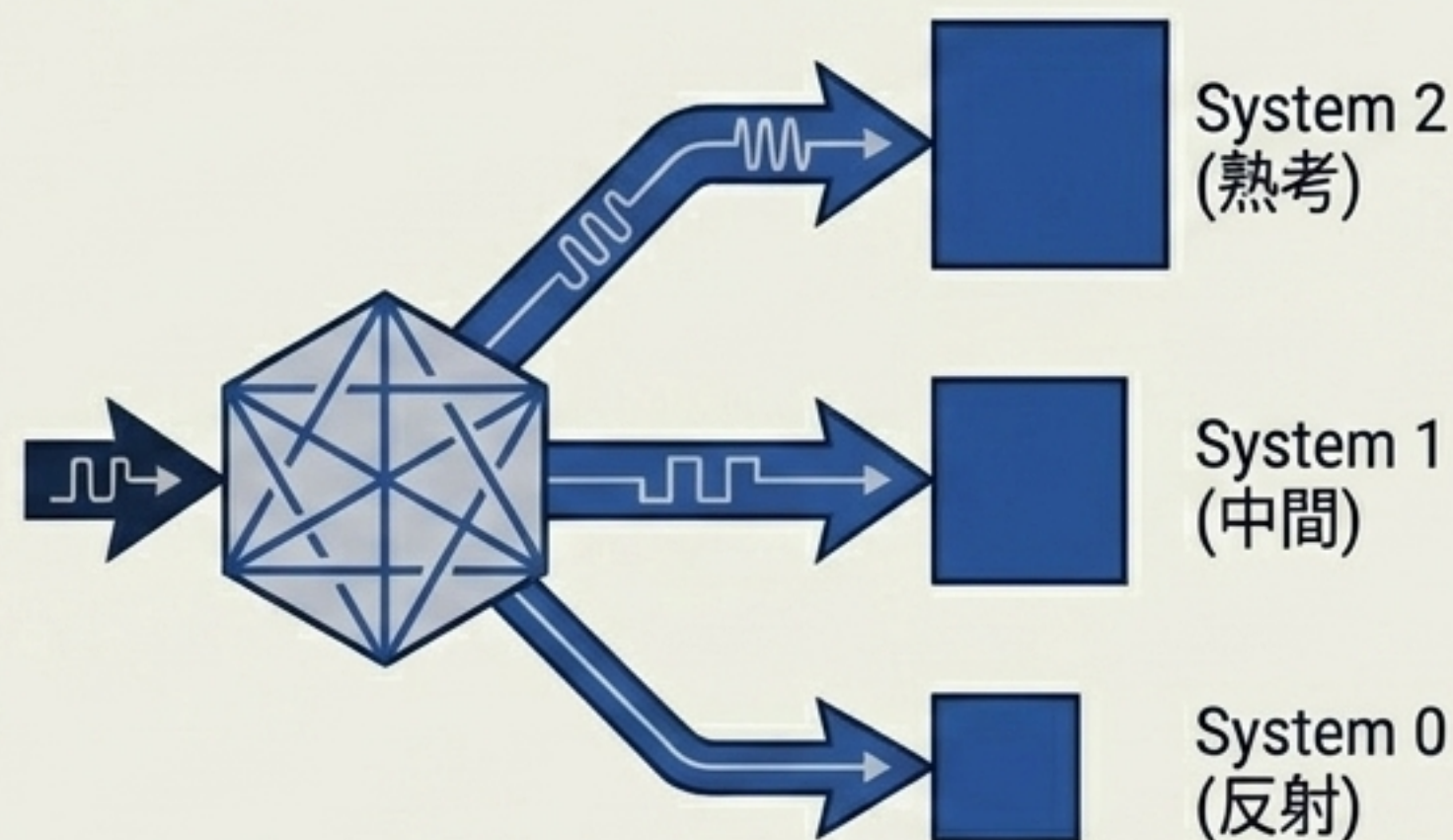
アーキテクチャの思想的対立

モノリシック (例: X Square Robot)



強み: 情報損失の最小化
弱み: エッジ環境での甚大なレイテンシと膨大な消費電力

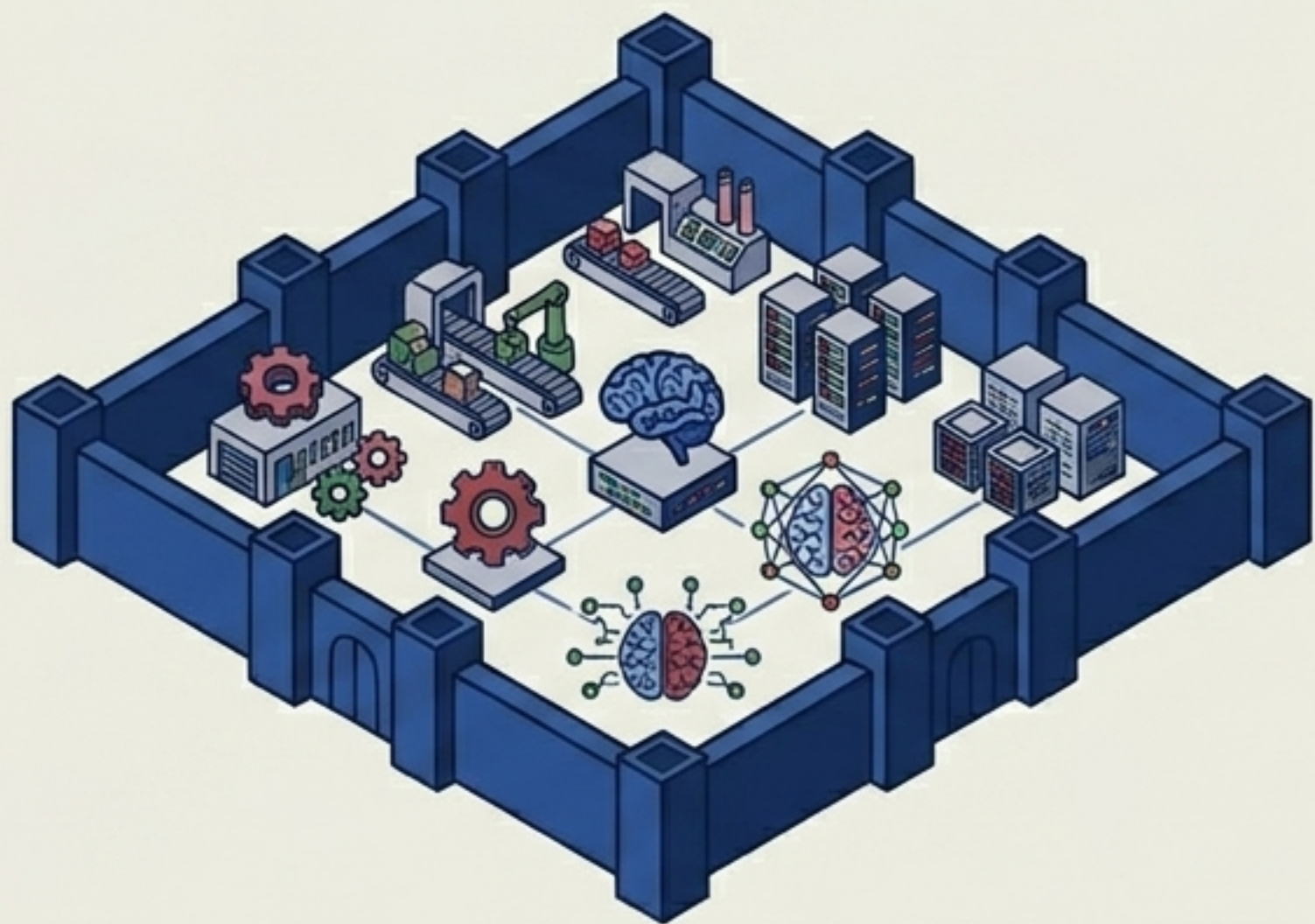
分離型・デカップリング (SynapX)



強み: 必要な計算資源を必要なタイミング (反射的動作 vs 熟考) に割り当てる生物学的効率性

The Walled Garden (垂直統合)

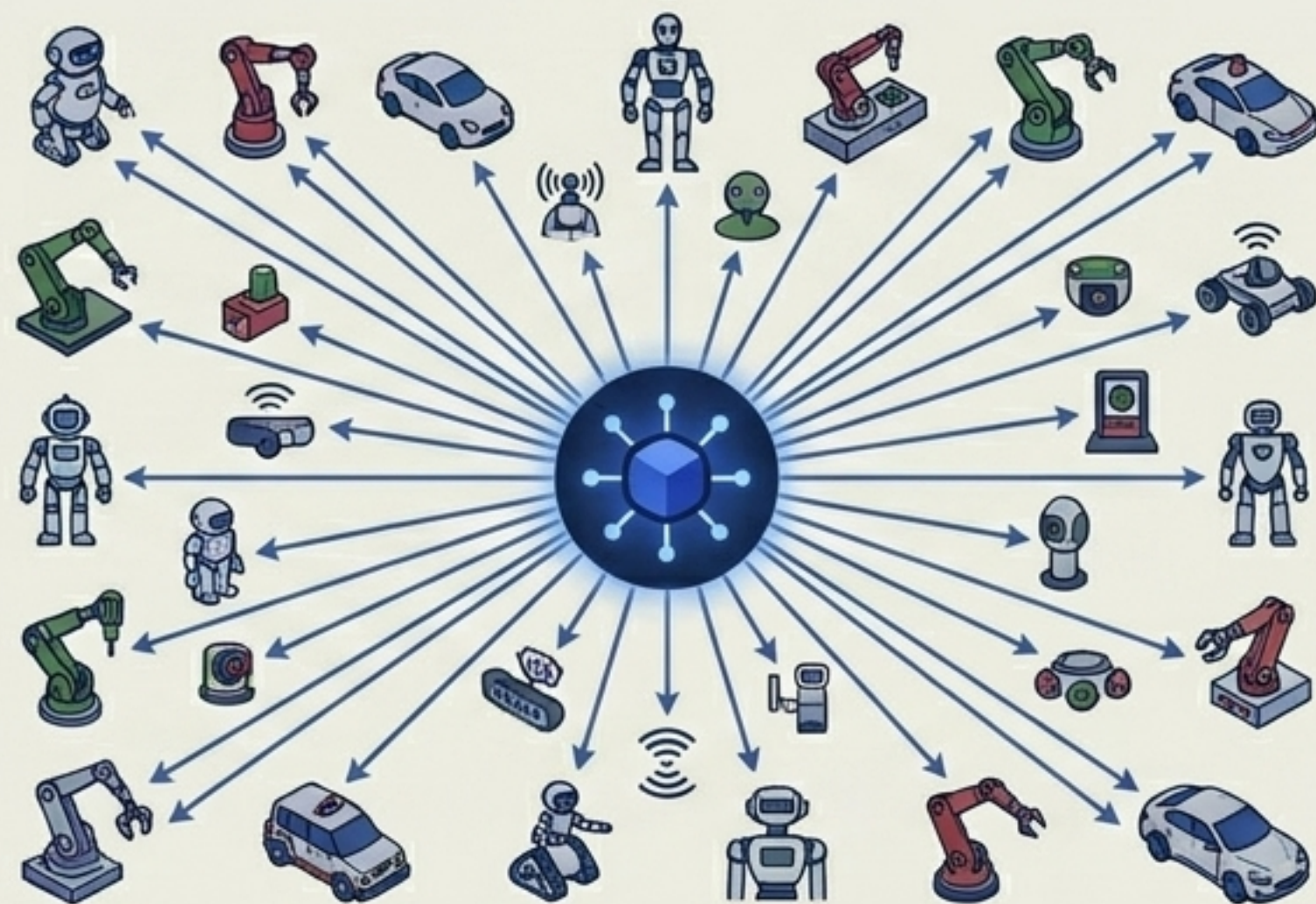
(Figure AI / Tesla 等)



ハードからソフトまで全て自社で抱え込む。
巨額の資本投下と製造リスク。

The Open Blueprint (エコシステム)

(SynapX)



知能（ソフトウェア）の供給に特化。多様な
プレイヤーと共存するAI as a Serviceの圧倒
的スケールビリティ。

The Disruption Equation

【技術的突破】

SYNTHの自己進化による
モラベックの
パラドックスの克服

+

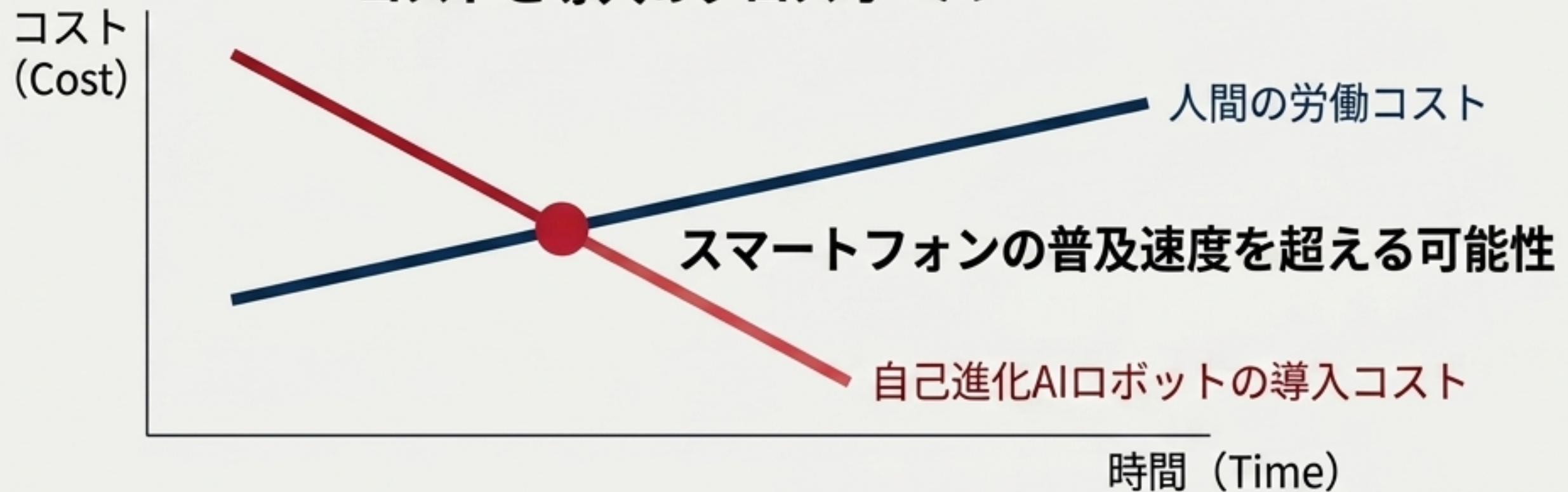
【圧倒的製造力】

中国EVサプライチェーンに
よるハードウェアコンポーネ
ント90%供給と低コスト化

=

=【ブルーカラー
労働力の劇的な
価格破壊と
不可逆的置換】

コストと導入のクロスオーバー



ハード・ソフト融合による グローバル覇権のリスク



デジタルのLLM開発で米国がリードしていても、物理世界（フィジカルAGI）を支配するには『身体』が不可欠である。EV産業で培った巨大な製造力と、SynapXのような自己進化型ソフトウェアが融合した時、安価で高度な中国製ヒューマノイドが世界市場を席巻する未来は、もはやSFではなく目の前のビジネスリスクである。